



編集

富山大学総務部企画室 〒930-8555 富山市五福3190
tel.076-445-6029 fax.076-445-6033

4
2003
APRIL



●学長告辞



●新入生



●新任教員説明会



●JABEE認定書



●「理学部・理工学研究科」石標

- 平成15年度入学式の挙行
- JABEEの認定—機械知能システム工学科—
- 石標の除幕式—理学部・理工学研究科—
- 学内諸報
- 主要行事



教育学部中庭の桜：平成15年4月

C O N T E N T S



1 学長告辞

平成15年度入学式を挙行



3 関係法令

法律 政令 省令 規則

4 諸会議



5 学事

平成15年度在外研究員派遣者

平成15年度内地研究員派遣者

工学部機械知能システム工学科が

日本技術者教育認定機構（JABEE）から認定



7 学内諸報

平成15年度新任教員説明会を開催

石標の除幕式を挙行 — 理学部・理工学研究科—

表彰

海外渡航者



9 主要行事

学長告辞

平成15年度富山大学入学式を盛大に挙行

— 学部学生1,627人、大学院生331人、計1,958人の入学を許可 —



告辞する学長

平成15年度富山大学入学式が、4月8日（火）午前10時30分から富山市芸術文化ホールにおいて挙行されました。式に先立ち、富山大学合唱団による「富山大学歌」（森川勝彦作曲）及び「めばえ」（木下牧子作曲）の合唱があり、会場に和やかな雰囲気をもたらしました。

式では、関係部局長が列席する中、最初に瀧澤学長が、学部学生1,539人、3年次編入学生88人及び大学院生331人計1,958人に入学許可を宣言し、「世界の動きに対する的確な判断能力を身につけ、21世紀の人類の



代表の宣誓

幸福のために貢献しうる人材となるよう、基礎を養っていただきたい」旨告辞しました。これに対し、新入生を代表して理学部数学科の浅野直さんが「入学生一同は、在学中、学則を守り、自己の研鑽に努め、更なる未来への展望を広げるとともに、より一層の学識を深めるよう努力します。」と宣誓し、厳粛に式を終了しました。

また、式終了後には、富山大学ギターマンドリンクラブが「ルンバ」（Dieter Kreidler作曲）及び「カントリーロード」（ジョン・デンバー作曲）の2曲、続いて富山大学フィルハーモニー管弦楽団が「ラデツキィー行進曲」（ヨハン・シュトラウス作曲）及び「威風堂々」（エルガー作曲）の2曲をそれぞれ演奏し、入学生を楽しませました。なお、学部入学生に対しては、その後、学生部・保健管理センターオリエンテーション及び学生団体オリエンテーションが行われました。

学長告辞（全文）

富山大学のそれぞれの学部に入學された皆さん、3年次に編入された皆さん、大学院の各研究科に進学された皆さん、おめでとうございます。

少子化で受験生が少なくなり、大学の門が広がったとはいえ、皆さんは何倍もの志願者の中から選ばれて富山大学の学生となった方々であり、先ずは心からお祝いを申し上げます。

現在、国会には国立大学の法人化についての法案が提出されていて、法人化について不安を持っておられる方もあるのではないかと思います。法人化によって大学の運営が国の行政から独立して行われるようになりますが、しかし国の予算によって運営される国立大学であることに変わりはありません。大学としての社会的責任は今以上に大きくなりますが、学問・研究の自由はもちろんのこと、大学としての本来の姿が変わるものではありません。

また、大学の再編統合については、昨年来、富山県内の富山医科薬科大学・高岡短期大学との統合に向けて検討中ですが、大学の統合は企業の合併とは異なり、三つの大学が一つになるだけでは意味が無く、統合によってより研究体制を強化し、学生の教育を充実し、また多くの社会的貢献が出来る大学にならねばなりません。

この立場から私達は精力的に新しい富山大学に生まれ変わるための検討をしております。一応、2005年・平成17年秋に新しい富山大学の発足を考えていますが、皆さんの在学中に再編統合があっても、皆さんは現在の富山大学の教育課程で学び、現在の富山大学の卒業生となります。

ここで本日、富山大学の学生となった皆さんに是非理解して欲しいことを述べます。

大学での勉学は、高校までの勉強とは全く異なることです。学生としての立場は、高校までの生徒の立場とは全く違っていています。大学での勉学は、自由と責任が基本です。大学では、先生方は勉学の問題で相談に来る学生には喜んで相談に乗り助言・指導を行います。

しかし、自ら求めない学生には何も与えてくれません。極端に言えば、授業をサボって遊んでいても先生は注意してくれません。学ぶも遊ぶも全て自由です。つまり自己責任の世界です。富山大学の附属図書館には百万冊の蔵書があり、雑誌も海外の学術雑誌を含めて約16,000種類のものがあります。これらを利用するかしないかも学生の自由です。

当然のことですが、自由には責任が伴います。自由と自己責任の世界、これが皆さんが今まで過ごしてきた高校生活と根本的に異なるところです。

もう一つ皆さんに理解して頂きたい重要なことは、学部での専門分野の勉学のほかに人文・社会・自然科学や外国語・保健体育・情報科目・総合科目などいわゆる教養科目の勉学が必要です。専門教育による高い専門的知識を持っていても、広い視野と豊かな人間性を持っていない限り、社会の変動に対して批判する能力が無く、的確な対応が出来ません。こうした能力の養成は専門教育だけでは困難で、全学の教員がそれぞれの専門分野を生かして担当する教養教育によって実現出来るものです。富山大学が専門教育と共に教養教育を重視している理由をよく理解して頂きたい。皆さんは、富山大学の学生生活の中で専門分野の知識を身に付けるとともに、世界の動きに対する的確な判断能力を身に付けて21世紀の人類の幸福のために貢献し得る人材となるための、基礎を養っていただきたいと思います。

さて現在は、ご承知のように皆さんの同世代の約半数が大学・短大などに在籍する時代になりました。一方で、同世代の半数以上の人々は、社会で週40時間、いや実際には超過勤務を含めてもっと多くの時間、苦しい仕事に従事して社会を支えていることを忘れないでいただきたいと思います。皆さんは学生として社会に甘えるのではなく、勉学によって、やがて社会的責任を果たす義務があります。そのためには、少なくとも同世代の人々が働いている時間は勉学をしなければならない、いや勉学することが社会的責任であることを自覚していただきたいと思います。

大学院に進学した皆さんには言わずもがなのことだったでしょう。ここで大学院研究科に進学した皆さんにお話したいことがあります。富山大学は50年を越える歴史の中で、数多くの人材を世に送り出してきましたが、中でもかなりの数の研究者を育ててきました。その数はこの規模の地方大学として全国に誇り得るものです。今現在も、全国各地の大学や研究所で皆さんの先輩が教育・研究に従事し業績を上げています。富山大学はこうした研究者を育て得る実力を持った大学であることを理解し、誇りを持って研究に励んでください。

終わりに、本日富山大学の学生となった皆さんは、どうか勉学に、読書に、またサークル活動に思い切り情熱を注いで、悔いの無い青春を送ってください。

本日の入学を心からお祝いして私の告辞といたします。

平成15年4月8日

富山大学長 瀧澤 弘

関係法令

(法律)

- 国立学校設置法の一部を改正する法律(29) (平成15.4.23官報第3592号)
- 雇用保険法等の一部を改正する法律(31) (平成15.4.30官報号外第94号)

(政令)

- 国立学校設置法施行令の一部を改正する政令(175) (平成15.4.1官報号外第71号)
- 雇用保険法施行令等の一部を改正する政令 (216) (平成15.4.30官報号外第94号)

(省令)

- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令 (文部科学26) (平成15.4.1官報号外第71号)
- 教育公務員特例法施行令第1条の規定に基づき大学院に置かれる研究科の長を定める省令の一部を改正する省令(同27)(同)
- 雇用保険法施行規則等の一部を改正する省令 (厚生労働82) (平成15.4.30官報号外第94号)

(規則)

- 人事院規則 9-6 (俸給の調整額) の一部を改正する人事院規則 (人事院9-6-48)
(平成14.4.1官報号外第71号)
- 人事院規則 9-8 (初任給、昇格、昇級等の基準) の一部を改正する人事院規則 (同9-8-48) (同)
- 人事院規則 9-17 (俸給の特別調整額) の一部を改正する人事院規則 (同9-17-90) (同)
- 人事院規則 9-40 (期末手当、勤勉手当及び期末特別手当) の一部を改正する人事院規則
(同9-40-20) (同)
- 人事院規則14-4 (営利企業への就職) の一部を改正する人事院規則 (同14-4-7) (同)
- 人事院規則14-8 (営利企業の役員等との兼業) の一部を改正する人事院規則 (同14-8-4) (同)
- 人事院規則16-0 (職員の災害補償) の一部を改正する人事院規則 (同16-0-36) (同)
- 人事院規則19-0 (職員の育児休業等) の一部を改正する人事院規則 (同19-0-4) (同)



諸会議

●部局長会議 [4月18日]

- (審議事項) (1) 学生の除籍について
(2) 富山大学工学部規則の一部改正について
(3) 富山大学附属図書館運営委員会規則の一部改正について
(4) 富山大学地域共同研究センター規則の一部改正について

●施設整備委員会 [4月18日]

- (審議事項) (1) 教育学部附属中学校校舎改修その他工事に伴う対応について

●評議会 [4月18日]

- (審議事項) (1) 富山大学名誉教授称号授与について
(2) 平成14年度着手の大学評価の事前調査回答について
(3) 学生の懲戒について

●事務協議会 [4月22日]

- (協議事項) (1) 当面の諸課題について

●教養教育運営協議会 [4月24日]

- (審議事項) (1) 平成15年度教養教育経費について
(2) 平成15年度教養教育非常勤講師任用計画の一部変更について
(3) 附属図書館運営委員会委員の選出について

●大学教育委員会 [4月25日]

- (審議事項) (1) 全学共通教育の実施体制の在り方について

学内規則

4月に制定された学内規則は、事務局総務部総務課ホームページ（学内利用者専用）に掲載されていますので、そちらをご覧ください。

「学内規則等改正等通知一覧」

<http://www.intra.adm.toyama-u.ac.jp/soumu/somuka/kisoku/tophouki.html>

学 事

平成15年度 在外研究員派遣者

| 種 類 | 所 属 | 職 名 | 氏 名 | 主たる滞在地名及び当該滞在地の属する国名並びに派遣先の機関名 | 調査研究題目 | 派遣期間 |
|----------------|------|-----|-------|--|----------------------------|----------------------|
| 長期(甲種) | 工学部 | 助教授 | 黒澤 信幸 | ダーラム (アメリカ合衆国) デューク大学 | 細胞周期に関する研究 | 15.8.25~ 16.6.25 |
| | 工学部 | 助 手 | 古井 光明 | ロサンゼルス (アメリカ合衆国) 南カリフォルニア大学 | 温度制御した強ひずみ加工による高機能軽金属材料の創製 | 15.10.1~ 16.7.31 |
| 短 期 | 理学部 | 助教授 | 川村 隆一 | メルボルン (オーストラリア) オーストラリア国立科学・産業研究機構 | オーストラリアモンスーンの変動メカニズムに関する研究 | 15.7.15 ~ 15.9.14 |
| 長期(甲種) 若手教官 | 人文学部 | 助教授 | 小野 直子 | ニューヘブン (アメリカ合衆国) イエール大学 | アメリカ合衆国における医療の専門職化に関する研究 | 15.9.1~ 16.8.31 |

平成15年度 内地研究員派遣者

| 所 属 | 職 名 | 氏 名 | 受入機関 | 研究 題目 | 派遣期間 |
|-------|-----|-------|------------------|--------------------------------|---------------------|
| 理 学 部 | 助教授 | 川本 恵一 | 広島大学総合科学部 | 哺乳類新規視床下部ペプチドの単離、脳内分布及び生理作用の解明 | 15.8.1~ 16.1.31 |
| 経済学部 | 助教授 | 丹羽 功 | 京都大学大学院 法学研究科 | 90年代日本の地方政治 | 15.5.1~ 15.10.31 |

工学部機械知能システム工学科が、 日本技術者教育認定機構（JABEE）から認定

工学部機械知能システム工学科が、日本技術者教育認定機構（JABEE：Japan Accreditation Board for Engineering Education）による技術者教育プログラムの機械および機械関連分野において、機械知能システム工学科のプログラム名で認定書を授与されました。

JABEEは、統一的基準に基づいて高等教育機関における技術者教育プログラムの認定を行い、その国際性を確保するとともに、技術者教育の向上と国際的に通用する技術者の育成を通じて社会と産業の発展に寄与することを目的に（アメリカのABETをモデルとして）平成11年11月に発足しました。

JABEEの認定は、大学等高等教育機関における技術者教育プログラムが、社会の要求基準を満たしているかどうかを共通の基準で公平に評価し、要求水準を満たしているプログラムに対してのみ授与されます。そして、認定プログラムの修了者には、未来の社会を託すことのできる想像力に富み人間力豊かな技術者として、専門分野の教育のみならず、コミュニケーション能力や技術者倫理を含めた人文社会科学等の分野の教育を受けていることが保証されます。

機械知能システム工学科では、平成2年度及び9年度に学科改組を行い、その際豊かな人間性と自主性、社会的責任感と応用能力を持つ人材を育てるため、基礎科目と応用科目を着実に修得し、それらを融合できる能力を形成できるよう様々な特徴ある工夫をカリキュラムに取り入れてきました。

JABEEの発足を機にその認定に取り組み、機械工学分野では全国で最初の5大学（6プログラム）の中の1つとして認定されました。この認定により、平成14年度の卒業生に対して修了証が交付され、また技術士試験における第1次試験が免除され直接「修習技術者」として実務修習に入ることが可能になりました。



認定証

学内諸報

平成15年度新任教員説明会を開催

4月4日（金）、事務局大会議室において、平成15年度新任教員説明会が開催されました。

この説明会は、本学の新任教員を対象に国立大学を取り巻く諸情勢、本学の教育、研究、管理運営体制及び諸課題等について説明し、大学運営について理解を深めることを目的としており、本年度は昨年5月1日以降に着任された教員22人が参加しました。



新任教員説明会

午前の部では、風巻副学長から開会挨拶が行われた後、金森学長補佐の「本学の教養教育について」の説明を皮切りに、塩澤副学長が「本学の教育、入学試験及び学生生活への支援について」説明を行いました。午後の部は、新屋事務局長の「大学の事務について」の説明の後、村上セクシュアル・ハラスメント等対応委員会委員長が「セクシュアル・ハラスメント等の防止について」説明を行い、最後に瀧澤学長が「本学の現状と課題について」説明しました。

参加者は真剣な表情で聞き入り、静かにメモをとる姿も見受けられました。

石標除幕式を挙行 —— 理学部・理工学研究科 ——

4月28日（月）午後3時から、理学部玄関横において「理学部・理工学研究科」石標の除幕式が挙行されました。

この石標は、理学部同窓会が創立50周年を記念し寄付したもので、式当日は瀧澤学長をはじめ、風巻、塩澤両副学長、平田卓郎理学部同窓会会長、平井理学部長ら関係者多数が参集しました。

はじめに平田会長から理学部・理工学研究科を激励する挨拶が行われ、続いて瀧澤学長、平田会長、平井理学部長が紅白のロープを引き石標の除幕を行いました。最後に、平井理学部長から、御礼の挨拶があり、和やかなうちに式を終了しました。



「理学部・理工学研究科」石標の除幕式



表彰

張勁助教授（理学部）がとやま環境賞を受賞

3月29日（土）、張勁助教授（理学部）の海底湧水の研究を通じた地球の循環メカニズムを解明する活動が自然環境保全とその継承に大きく貢献したとして、（財）富山・水・文化の財団からとやま環境賞・優秀活動賞を授与されました。張勁助教授は生物圏環境科学科環境化学計測講座所属で、専門は地球化学。

塩澤和章教授（工学部）が日本機械学会賞（論文）を受賞



4月12日（土）、塩澤和章教授（工学部）が機械工学と工業の発展に寄与したとして、（社）日本機械学会から日本機械学会賞（論文）を授与されました。塩澤教授は機械知能システム工学科設計生産工学講座所属で、専門は強度設計工学。

海外渡航者

| 渡航の種類 | 所属 | 職 | 氏名 | 渡航先国 | 目的 | 期間 |
|-------|------|-----|-------|---------|---------------------------------------|---------------------|
| 外国出張 | 工学部 | 教授 | 佐々木和男 | アメリカ合衆国 | ロックフェラー大学にて研究打ち合わせ、国際行動神経科学学会に出席、研究発表 | 15.4.20～ 15.4.29 |
| | 人文学部 | 助教授 | 大西 宏治 | イギリス | 国際地理学会地理教育委員会ロンドン合議事前打合せ、出席、研究発表 | 15.4.23～ 15.4.30 |

訂正 第459号の14ページ、下から8行目に誤りがありました。お詫びして訂正します。

（正） 教育学部助教授 黒田 卓 アメリカ合衆国

（誤） 教育学部教授 山西 潤一 アメリカ合衆国

【お知らせ】 教職員の人事異動については、事務局ホームページ（学内利用者専用）に掲載されていますので、そちらをご覧ください。

総務部人事課「人事異動等通報」 <http://www.intra.adm.toyama-u.ac.jp/soumu/jinji/index.html>

主要行事

本 部

- | | |
|------|---|
| 4月3日 | 事務局連絡会 |
| 4日 | 新任教員説明会 |
| 7日 | 事務局連絡会 国際交流委員会留学生部会 |
| 8日 | 平成15年度入学式 国家公務員採用試験説明会 |
| 11日 | 放射性同位元素総合実験室運営委員会 |
| 14日 | 事務局連絡会 |
| 15日 | 運営会議 極低温量子科学研究センター運営委員会 |
| 16日 | ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー幹事会 |
| 18日 | 部局長会議 施設整備委員会 評議会 |
| 21日 | 事務局連絡会 職員教養研修開講式 情報基盤専門委員会 |
| 22日 | 構想策定委員会（於：富山医科薬科大学） 事務協議会 |
| 24日 | 法人化準備委員会 教養教員実施専門委員会 教養教育運営協議会 |
| 25日 | 再編・統合検討委員会 大学教育委員会 国際交流委員会学術交流部会 大学等就職問題連絡会議（於：高志会館） |
| 28日 | 大学開放事業実施調整委員会 |
| 30日 | センター等連絡会 |

人文学部

- 4月 4日 学部研究評価対応委員会
7日 学部教務委員会
学部学生生活・就職指導委員会
8日 学部研究評価対応委員会
9日 学部学生生活・就職指導委員会
教授会
16日 学部広報委員会
学部入学試験委員会
学部自己点検評価委員会
学部情報処理委員会
17日 学部総務委員会
23日 学部予算委員会
学部将来計画委員会
学部教務委員会
学部研究評価対応委員会
30日 人文科学研究科委員会
教授会

教育学部

- 4月2日 学部学生生活委員会
教育学部及び附属学校園共同研究プロジェクト運営委員会及び研究推進委員会
7日 学部新入生オリエンテーション（教養教育）
研究科委員会小委員会
学部教務委員会
附属小学校第1学期始業式
8日 大学院新入生オリエンテーション
学部予算委員会
学部防火対策委員会
附属中学校前期始業式及び入学式
附属養護学校第1学期始業式
9日 学部新入生オリエンテーション（専門教育）
研究科委員会
教授会
人事教授会
学部入学試験委員会
附属小学校及び附属養護学校入学式
附属幼稚園第1学期始業式
10日 学部前学期授業開始
11日 教育学部及び附属学校園共同研究プロジェクト研究推進委員会
附属幼稚園入園式
16日 学部入学試験委員会
教育方法改善委員会
学部将来構想委員会
19～20日 新入生合宿研修（於：立山少年自然の家）



経済学部

| | |
|-------|--|
| 23日 | 紀要編集委員会 配分比率評価委員会 学部将来構想委員会 |
| 30日 | 教授会 人事教授会 |
| 4月 2日 | 学部教務委員会 |
| 7日 | 学部入学試験委員会 学部学生生活委員会 |
| 8日 | 研究科委員会小委員会 |
| 9日 | 人事教授会 研究科委員会 教授会 |
| 14日 | 学部国際交流委員会 |
| 15日 | 図書等委員会 |
| 16日 | 生涯学習・広報委員会 |
| 17日 | 学部教務委員会 |
| 21日 | 学部国際交流委員会 |
| 23日 | 学部教務委員会 研究科委員会小委員会 将来構想等検討委員会 就職指導委員会 |
| 30日 | 学部学生生活委員会 教授会 |
| 4月2日 | 学部学生生活委員会 |
| 7日 | 学科長会議 理工学研究科博士後期課程部会 |
| 11日 | 学科長会議 |
| 14日 | 学部図書委員会 学部入試委員会 |
| 16日 | 理工学研究科博士前期課程理学部会 教授会 人事教授会 |
| 17日 | 学部排水安全専門委員会 |
| 23日 | 学部教務委員会及び理学部会教育委員会の合同委員会 学部教務委員会 |
| 25日 | 学科長と施設委員会委員との合同打合せ 学科長会議 |
| 28日 | 「理学部，理工学研究科」石標除幕式 |
| 30日 | 教授会 理工学研究科博士後期課程部会 |



理学部

工学部

| | |
|------|--|
| 4月2日 | 学部教務委員会 |
| 4日 | 学部電子広報委員会 学部国際交流委員会 |
| 7日 | 教授会 専任教授会 理工学研究科博士前期課程工学部会 理工学研究科博士後期課程部会 |
| 8日 | 工学部新生保護者「施設見学・懇談会」 |
| 15日 | 学部運営委員会 |
| 16日 | 学部電子広報委員会 |
| 18日 | 学部教務委員会 |
| 21日 | 大学院入試（博士前期課程）の推薦入試に関する検討会 学部入試検討委員会 |
| 22日 | 学部入試検討委員会 |
| 23日 | 教授会 理工学研究科博士前期課程工学部会 学部運営委員会 学部将来計画委員会 |
| 30日 | 工学部実験排水安全管理専門部会 教授会 専任教授会 理工学研究科博士前期課程工学部会 理工学研究科博士後期課程部会 学部将来計画委員会 |

地域共同研究センター

| | |
|-------|----------------------|
| 4月10日 | 運営委員会(持ち回り) |
| 10日 | MEX 金沢2003出展(~12日) |
| 18日 | 運営委員会 |
| 24日 | 平成15年度とやま産学官交流会事前検討会 |

生涯学習教育研究センター

| | |
|-----------|--------------------------------|
| 4月10日~16日 | 平成15年度前学期オープン・クラス受講の試聴及び受講科目登録 |
|-----------|--------------------------------|



留学生センター

4月11日 日本語研修コース開講式



水素同位体科学研究センター

4月24日 専門委員会



機器分析センター

4月17日 運営委員会



極東地域研究センター

4月8日 運営委員会

15日 運営委員会